暮らし・心高める体験交流

広島湾ベイエリア

温暖な気候に恵まれた広島湾の自然を体験

広島湾域は、多島美で知られる瀬戸内海の西に位置し、厳島神社（宮島）と原爆ドームという2つの世界遺産を有する地域です。湾域の中心部は、中国地方をリードする産業、経済の中心都市の広島市がありますが、少し足を延ばすと湾域全体にわたり豊かな自然に恵まれています。海はもとより、山、里、川とのかかわりが深く、そこに暮らす人々は、穏やかで美しい瀬戸内海の温暖な気候の中で、地域色豊かな生活文化を育んできました。

広島・山口両県の6市3町（広島市、呉市、江田島市、廿日市市、大竹市、岩国市、坂町、和木町、周防大島町）の自治体や経済団体などで構成する「広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会」では、こうした地域の自然や生活文化を生かした体験プログラムを整備し、体験型修学旅行の受け入れを行っています。

世界遺産に登録されている広島の原爆ドーム

当地域には、厳島神社（宮島）と原爆ドームという2つの世界遺産に加え、呉市の「大和ミュージアム」、江田島市の「海上自衛隊第1術科学校」など、日本を代表する歴史・文化遺産を有しており、世界平和への取り組みはもとより、日本の伝統や歴史文化を体験学習できます。

穏やかな風波、潮流、適切な水温に恵まれた広島湾では、カキ養殖をはじめ、底引き網漁、吾智網漁、刺し網漁といった漁法で、アジ、メバル、黒鯛、タチウオなどの漁業が盛んです。また、広島湾域の温暖な気候は「みかん」をはじめとした野菜、柑橘類の栽培にも適しており、他の地域にはない自然環境の中で、農林漁業をのびのびと体験することができます。なかでも、内海のカレイやシタビラメといった底もののおいしい魚を狙い、網を揚げる底引き網漁、獲れた魚を使ったバーベキュー、その他、アジの開きづくり指導や、漁村生活を語らう交流体験など、「楽しく学ぶ」をモットーに子供たちをお迎えしております。

倉橋島の底引き網漁体験

地引き網・みかん収穫体験（周防大島）

島しょ部に暮らす人々とのできます。なかでも、流を深め、子供たち1人ひとりの大切な思い出として刻まれます。

広島湾各地から【倉橋島】

呉市南方の瀬戸内海に浮かぶ倉橋島では、瀬戸内の海と四季の彩り豊かな美しい自然から、漁業、農業はもとよりスポーツ、レジャーが盛んな町です。この島の修学旅行は、民宿を通じて、日々自然と向きあって生きている島人が農業・漁業などの家業（生業）を伝えながら、ふれあい交流を図るというものです。民泊家庭は、現在100軒にのぼり、平成23年には150軒に増やし、450人までの受け入れができる態勢をめざしています。

【平和学習】

広島は、第二次世界大戦中の1945年（昭和20年）8月6日に、世界で初めて原子爆弾が投下され、大きな被害を受けました。原爆ドーム、平和記念資料館、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館、慰霊碑、被爆建物などの見学や被爆体験証言者の話から、原爆の恐ろしさ、非人道性を肌で感じます。

被爆地広島で「核兵器が人類の破滅をもたらし、人類とは共存しない兵器であること」「戦争が多くの命や愛する家族、友人、財産を奪ってきたこと」「命の大切さ」について学んでください。

【周防大島】

周防大島は、山口県東南部に位置し、瀬戸内海に浮かぶ島では3番目の広さを誇り、年間平均気温15・5度と温暖な、青く澄みわたる瀬戸内の海と四季の彩り豊かな美しい自然から、漁業、農業はもとよりスポーツ、レジャーが盛んな町です。この島の修学旅行は、民宿を通じて、日々自然と向きあって生きている島人が農業・漁業などの家業（生業）を伝えながら、ふれあい交流を図るというものです。民泊家庭は、現在100軒にのぼり、平成23年には150軒に増やし、450人までの受け入れができる態勢をめざしています。

宮島シーカヤック

【平和学習】

広島は、第二次世界大戦中の1945年（昭和20年）8月6日に、世界で初めて原子爆弾が投下され、大きな被害を受けました。原爆ドーム、平和記念資料館、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館、慰霊碑、被爆建物などの見学や被爆体験証言者の話から、原爆の恐ろしさ、非人道性を肌で感じます。

被爆地広島で「核兵器が人類の破滅をもたらし、人類とは共存しない兵器であること」「戦争が多くの命や愛する家族、友人、財産を奪ってきたこと」「命の大切さ」について学んでください。

広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会
（広島商工会議所 商工部 観光振興チーム内）
担当　大巳、近棟
営業時間　月～金曜日　8：30～17：30（祝日は除く）
〒730-8510 広島市中区基町5-44
TEL 082-222-6651　FAX 082-222-6411
E-mail:hiroshima@hiroshimacci.or.jp
http://www.hiroshima-marugoto.jp/

滋賀県びわ湖・近江路

心の交流から生まれる 感動の笑顔

びわ湖・近江路観光圏協議会

びわ湖・近江路観光圏は、日本最大の湖「琵琶湖」の北側から東側に位置し、琵琶湖と近江盆地、それを取り巻く伊吹・鈴鹿山系を擁して、湖、里、まち、山、川という多様なロケーションを有しています。また、京都、奈良にも近く、万葉の時代から現在に至るまで、わが国の歴史、文化の重要な舞台となっています。来年の大河ドラマ「江～姫たちの戦国」では、浅井長政と信長の妹お市との間に生まれ、戦国の世に翻ろうされた数奇な運命を辿る浅井三姉妹の三女お江にスポットが当たります。

環境学習として、びわ湖沖合での漁業体験

心の交流から生まれる感動の笑顔。びわ湖・近江路の体験交流が盛り上がっています。

■良好なアクセス環境

京阪神都市圏と中京圏の結節点に位置し、鉄道、新幹線、高速道路のすべてが圏域内にあり、京都、名古屋への所要時間は、それぞれ1時間半と、全国どこからでもアクセスが容易です。

■心の交流　民泊体験

長浜、米原などの湖北エリアに160軒、近江日野エリアに150軒の民泊家庭があり、収容可能人数は1200人にもなり、さらに拡大しつつあります。畑へ行き、自分たちで食材を調達し、受け入れ家族と一緒に調理し、食し、日常の暮らしや地域の歴史や文化、琵琶湖とそれを取り巻く環境、さらには人とのかかわりや生命の大切さなどを、団らんの中で学びます。生徒たちと受け入れ家庭との新鮮な出会いは、心の豊かさの実感につながり、人としての成長を促す絶好の機会となります。

MYおはしづくり

民泊の団らんの中で人とのかかわりや生命の大切を学ぶ（上）、座禅体験（下）

■びわ湖環境学習

びわ湖環境学習では、びわ湖をフィールドに、漁業やレイクカヤックなどの体験とインストラクターとなる漁師や水辺に住む人々の生き様を通して、森、里、川、湖に至る環境を学ぶことができ、自分自身が、自然の恩恵を受けながら、その中で生かされていることを実感します。

■商店街就労体験

この圏域からは、「売り手よし　買い手よし　世間よし」の「三方よし」の精神で成功した近江商人の多くを輩出。多種多様な商店が軒を連ねる長浜の商店街では、生徒たちの積極性を養い、豊かな心を育てるキャリア教育としての就労体験を通して、近江商人の精神を学びます。

教育旅行で訪れたどの学校の先生方も、生徒たちの表情の豊かさに驚きの声をあげます。子どもたちは、新鮮な田舎の料理や体験、人々との出会いを通して新しい自分自身を発見し、心からの感動の笑顔を見せます。訪れる側にも迎える側にも、交流を通して生まれる感動の笑顔の輪を拡げたい、それがびわ湖・近江路観光圏の想いです。

長浜の商店街就労体験

びわ湖・近江路観光圏協議会
近江屋ツアーセンター
〒526-0059 滋賀県長浜市元浜町14-12
TEL 0749-65-0370　FAX 0749-65-0380
E-mail info@ohmiji.jp
http://ohmiji.jp/

和歌山県

和歌山「ほんまもん体験」の修学旅行

ほんまもんの人の温かさと笑顔に出会える旅

和歌山県では、平成14年から、体験観光メニューを「ほんまもん体験」のブランド名で売り出し、現在343のメニューがあります。

ほんまもん体験の魅力は、なんといっても「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録された高野山や熊野古道、「ラムサール条約」に登録された世界最北限のサンゴ群落が見られる串本沿岸海域など、世界が認めた地域で歴史・文化体験やスポーツ体験ができることです。また、和歌山ならではの伝統工芸品や特産品を自分の手で作る体験も多く、参加者の方から達成感、充実感が得られると好評です。

世界最北限のサンゴ群落が見られる串本地域でのスノーケリング

この「ほんまもん体験」の中から、ぜひ、修学旅行で体験してほしいメニューを紹介します。

◆スノーケリング体験

ラムサール条約に登録された串本地域でのスノーケリング体験は、一度海中に顔をつけると、こがが本州なのかと思うくらい豊かなサンゴの群落を目にすることができます。

大自然を身体全体で感じるカヌー体験

かく、春や秋にも体験可能です。

◆カヌー体験

清流日置川・古座川では四季折々の表情を楽しみながらカヌー体験をしていただけます。春には桜を楽しみ、夏には新緑の力強さを、そして秋には紅葉の趣を感じることができます。また、いつもとは違った視点で清流に耳を傾けながら下っていただきますので、大自然を身体全体で感じていただけるメニューとなっております。

◆黒竹民芸品づくり体験

県の中央部にある日高町は、黒色の竹、黒竹（くろちく）の加工品生産量が日本一のまちです。珍しい竹を活用した民芸品づくり体験を通じて、ものを作る達成感、充実感はもとより、インストラクターとの交流を通じて地場産業に対する理解を深めていただけます。

※和歌山県では、修学旅行の事前視察も受け付けています。ぜひ、現場で「ほんまもん体験」を体感してください。

珍しい黒竹を使った民芸品づくり体験

和歌山県観光局観光交流課
社団法人和歌山県観光連盟
〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1
TEL 073-441-2785　FAX 073-427-1523
E-mail:e0625001@pref.wakayama.lg.jp
http://www.wakayama-kanko.or.jp/

和歌山・日置川

こんなに感動するとは思わなかった

和歌山県白浜町は紀伊半島の南部に位置する歴史ある温泉地。その温泉街から黒潮打ち寄せるリアス式海岸を40分南下すると、山、川、海に囲まれた「ほんまもん体験」の里、日置川エリア。

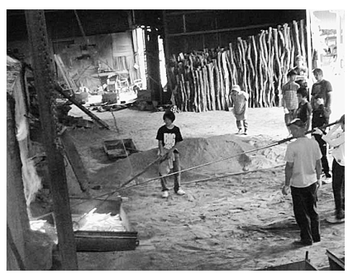
地域内に足を踏み入れた瞬間、「おとぎの国に来たみたい」と喜ぶ生徒さんたち。

年間平均気温17度と温暖であり、豊かな自然の中で育まれた生活文化、そこに暮らす穏やかで温かい人々が体験リーダーであり、民泊の担い手です。

民泊先の家族と一緒に夕食づくり

大好き日置川の会では、ありのままの自然や暮らしの中で、技術や知識を伝え、地域の誇りや自分の生き様、体験プログラムの物語を伝え、体験を通して交流することを大切にしています。

体験プログラムは自然・アウトドア、林業、川の漁業、海の漁業、生活文化、農業、味覚、歴史文化体験などさまざまな分野にわたり60種目あり、各体験とも3時間のほんまもん体験を行っています。


備長炭の作業体験

木の国で林業を体験

地域の経験豊かな体験リーダーの指導のもと、「ほんまもん体験」を終えた後には大きな達成感と感動、生徒さんたちは自信を得て生き生きとした表情に変わります。

農林漁家生活体験（民泊）

家族の一員としてお迎えする民泊は、一軒に4人として80軒、320人の受け入れができるようになりました。各民家での宿泊と半日、1日の家業おまかせプランによる農林漁家生活体験を終えた後は、「まだ帰りたくない」と言ってくれる生徒たちとの別れがつらいものです。担い手のおばあちゃんは「若い方たちとの交流に目覚めました」と言い、80代という高齢ながら初めて味わう交流の楽しみ。

お別れ式は互いの心の高まりを最高に感じるひと時でもあります。

民泊のほか、川沿いと海沿いにある13軒の民宿に分宿して、宿の主人、おかみさんと一緒に各民宿が得意とするプログラムを体験する体験民宿も好評です。

清流でのリバーカヌー

大好き日置川の会では、受け入れのための研修会や反省会を開催し品質向上を図り、保健所、消防署、警察署と連携をとり講習会を実施し、安全管理、衛生管理を徹底しています。地域コーディネート組織として企画、提案、調整、下見対応、手配、精算などワンストップ化を図り、もう一度行きたくなる感動体験「和歌山・日置川ほんまもん体験」に地域一丸で取り組んでいます。皆様のお越しをお待ちしております。

おすすめ体験プログラム

■紀州備長炭の作業体験

和歌山県の無形文化財である紀州備長炭づくりを通して、森を守りながら利用する自然との共生、人々の知恵、伝統産業を学びます。気圧に左右され調整が難しい「窯だし」は1300度の熱い炎との戦いであり、灰まみれになりながらの貴重な作業体験です。

■林業間伐体験

紀州木の国と呼ばれ古くから杉桧の良質材の産地であり、環境学習として山を守り育てる大切さを学びます。

山の手入れの1つ、間伐作業では、のこぎりを使って木を倒し、危機管理も学習。安全に十分配慮したプログラムです。

■リバーカヌー体験

広い川原で準備体操の後、基本練習をして川へ入るので初心者でも安心。川底の石まではっきり見える県立自然公園の中、清流日置川をカヌーツーリング。途中対岸に上陸し、日本の滝百選の1つ「八草（はそ）の滝」の滝壷探検も水量があれば可能。人々の暮らしを守ってきた川文化を学びながら、川面に鮎の跳ねるのを間近に見る　野趣あふれる日置川ならではの感動体験。

大好き日置川の会
〒649-2532 和歌山県西牟婁郡白浜町安居305
TEL 0739-53-0055　FAX 0739-53-0055
E-mail:daisuki-hikigawa@castle.ocn.ne.jp
http://www.daisuki-hikigawa.com